

# 笑顔

熊本市高齢者支援センター ささえりあ帯山

熊本市中央区保田窪1丁目 1-33 第2大田ビル1階

第39号

電話:096-241-0230 FAX:096-241-0232

平成29年4月

E-mail:sasaeriaobiya @kyouninkai.jp

<http://www.kyouninkai.jp/obiya/>



介護保険制度の改正により、熊本市では平成29年4月から「介護予防・日常生活支援総合事業」が始まります。現在、介護保険で訪問介護（ホームヘルプサービス）・通所介護（デイサービス）を利用している要支援1・2の方が新しい総合事業に移行します。要支援者自身の能力を最大限に活かしつつ、住民によるサービス等を総合的に提供できるように見直されています。さて、そんな中、帯山校区2町内では、昨年より熊本県民間活動促進事業の補助金を活用して、生活支援サービスの充実を図ることを目的とした事業に取り組まれています。2月には、

「帯山2町内“未来をつくる会”」が開催され、地域住民の他、帯山

中学校、熊本学園大学、他町内自治会長並びに民生委員の方々、隣接する託麻原校区、帯山西校区の諸団体長など約100名の参加がありました。会は2部形式となっており、第1部は、たまな元気会&岱明元気会会長西分幸夫氏に「高齢者の元気づくりの“場”を創る」というテーマで講演をされました。西分氏より、「行政に求めるだけ、やってくれるだろうと待っているだけではダメです。様々な活動の“場”の創生は住民の手でできます。行政にも校区にも遠慮なく協力してもらおう。そして、行政の手の平で楽しく踊ることが大切です」と話されていました。第2部では、帯山校区2町内で具体的に取り組まれている、ほがらかサロン・お助け隊・高齢者の介護予防につながる健康づくり活動についての報告がありました。その後、①私がやりたいこと②私がやること、についてグループワークを行い、活発な意見がたくさん出されていました。これから、超高齢化社会を迎えるにあたり『地域の力』がますます必要となってきます。その中でも、特に高齢者の方々のお力は必要です。このようなワークショップを活用しながら、住み慣れた地域でいつまでも安心して過ごせるよう、地域の皆様で考える場への参加ができたことは、私達にとりましても大変勉強になりました。来年度の帯山2町内の活動がどのように進んでいくのかとても楽しみです。そして、その仕組みづくりにこれからも参加させて頂ければと思います。



## 熊本地震と“チャレンジ託麻原” — 地域×専門職×未来会議

2月15日、水前寺共済会館グレースにて開催されました。

今回は、前回のワークショップの成果と課題、今後の展望や目標の確認作業として、情報収集シートを活用しながら進められました。地域の方々と地域の専門職がどの様に関わり、地域を支え合っているかなどの具体的な取り組み方法の共有や、双方が未来に目を向け連携していくことで、地域の未来の有り方を考える時間となったのではないのでしょうか。また、チャレンジ託麻原へ参加をしたことで、専門職が地域サロンへ、さらには、熊本学園大学の学生さんが地域サロンへ参加を

するといったきっかけ作りにもなりました。「顔なじみの関係が、もしもの震災の時も支え合っていく事に繋がる、見かけたら声をかけるので私たちにも声を掛けてください！」という学生さんの元気な笑顔がとても印象的でした。「いくつになっても住んでいたい」、そんな街づくりのお手伝いを、今後も一緒になってさせて頂く事が私たちの励みです。



ワークショップの様子です。

▶ 熊本学園大学の学生さん達です。若さ”があふれ出ていましたよ！



## 地域の先輩から学ぶ ～地域の皆様と熊高生との交流会～

2月14日から10日間で、託麻原校区の地域住民の方と熊本高等学校1年生の交流会が開催されました。はじめに、地域の方の自己紹介があり、次に5～6人のグループに分かれ、テーマを決めて意見交換が行われました。キーワードとして「つながり」・「愛」・「文化」・「価値」が挙げられ、震災後と言う事もあり、避難所でのボランティア活動や食の有り難さ等を再認識した事や、高校生より「高齢者の方から昔と今の食文化の違いについて話を聞くことが出来た貴重な機会になった」などの意見も聞かれました。

キーワードは…  
・つながり  
・愛  
・文化  
・価値



## 帯山西校区社会福祉協議会研修会

3月10日（金）、帯西コミセンにて開催されました。地域住民の方、約70名ほどの参加があり、私たちささえりあ帯山も一緒に参加をさせて頂きました。研修会では、最初に、帯山校区2町内の民間活動促進事業（助成金）の報告発表や、帯山西校区5町内のわくわくクラブ立ち上げから現在の状況についての発表がありました。次に「帯西で、ずっと元気に暮らすには…今、私達にできること」をテーマに、各町内に分かれてのワークショップが行われ、地域の方や事業所の方と自分たちの町内でどんなことをしているか、他にやってみたいことやあったらいいなと思うことはないか？について話し合があり、各町内から色々な意見が出ていました♪



住民の方が何を求めているかを知ること、新たな目標ができ、地域の活性化につながるんですね！



## トピックス TOPICS!

認知症地域支援推進員の牛島です。今回は、ささえりあ帯山の圏域外での私の活動を紹介します！

3月18日（土）に、北区の武蔵塚校区で第2回目の「認知症徘徊者声掛け模擬訓練」が開催されました。私は、第1回目の訓練内容をみんなで決めていく準備会議に参加させて頂きました。ささえりあ武蔵塚さんが中心になって準備会議を進めていったのですが、会議を重ねていくうちに、参加されていた校区住民や介護サービス事業所の方々から、建設的な意見が多数出るようになり、校区全体で作上げた訓練になったと実感できました。今後も認知症に関する様々な校区の取り組みを紹介させて頂ければと思います！今後ともどうぞよろしくお願い致します。

認知症地域支援推進員とは…

医療、介護及び生活支援サービス等、認知症の方及びその家族の支援に携わる関係機関と連携し、熊本市における認知症高齢者等に対する支援体制を構築する事を目的とされた職員です。



▼▲徘徊者役の方に声をかける様子です。



「精神的不安症状があり、認知症疾患のある独居女性の支援」をテーマに、地域ケア個別会議を開催。会議には、民生委員、担当ケアマネ、通所リハビリスタッフ、介護スタッフ、圏域の主任ケアマネ、精神科病院の認知症連携担当者、生活支援コーディネーター、など多職種の方々に参加して頂きました。課題としては、本人が独居である事に不安を感じながら生活をされ、その不安から毎日のようにかかりつけ医院を訪れている事に対し、①本人の安心できる居場所づくり②見守り体制の構築についての検討です。担当地区の民生委員さんより、本人が地域の方々との関わりがあることや、自宅近くでサロンが最近始まったこと等を踏まえ、通所リハビリスタッフが本人利用時にリハビリとして本人をサロンへ案内する → 民生委員さんが、サロンで本人を出迎える → 地域の方々と繋ぐ、といった様に、地域の方々と専門職の双方が出来る事を確認し、すり合わせを行う事で、上手く地域の活動に繋げる事ができた事例となりました。今後も、この様に地域と多職種が協力・話し合い・実践する事で、地域で暮らす高齢者の方々の居場所や地域づくり、更には介護予防に繋がっていくのではないかと感じました。

## 地域ケア会議



平成28年12月12日

## 「認知症介護家族のつどい」－ “ほっとカフェ” 3月25日開催

今回は、介護家族の方4名（男性2名、女性2名）、他に事業所や民生委員、認知症コールセンターさんのご参加がありました。ご家族より、「被害妄想があり頻繁に電話をかけてくるので、対応に苦慮している」、「お金の執着している」、「認知症が進み家族の顔も分からないことがある」、「配偶者が亡くなったことを忘れて、何度も聞いてくるが、どのように伝えるべきか」などの悩みを話されていました。それに対し、自分の介護の経験からの対応方法の紹介など、お互いの情報交換をされて

いました。また、事業所からは認知症についての知識や施設での対応方法の紹介、高齢者住宅等の情報提供がありました。この様な和やかな雰囲気の中で話をする事で、ご家族のストレス解消や不安の軽減に繋がればと思います。



## ★編集後記★

早いもので、震災からもう一年が経過します。ささえりあ帯山の担当校区でも、あちらこちらと解体が進み、建設途中の新しい家を見かけるようになりました。我が家では、震災をきっかけに新しい“家族”を動物愛護センターより迎えました。大型犬です。性格は大変人懐こく耳が聞こえづらいようですが、そこはアイ(愛)コンタクトでカバーしています。先住犬との相性もいよう、ふたり(犬)で仲良くしております。散歩の時は、色んな方からよく声を掛けられたり、写真を撮られたりなど、たちまち近所のアイドルとなりました。(彼は、全く意識しておりませんが、写真を撮られる時ボーリングが決まっているのは何故でしょうか?)あの日、彼は突然ひとりぼっちになりました。しかし縁あつて、我が家の家族の一員となりました。ささえりあ帯山は、六年目の春を迎えます。今以上に、地域の皆様とのお縁を大事にさせて頂きたいと思っております。今後ともご支援の程宜しくお願い申し上げます。

小島 康江

